

### 3年B組 道徳学習指導案

平成28年11月 1日（火）

指導者

- 1 主題名 内容項目名 遵法精神，公德心 （内容項目番号 C-10）  
（資料名「二通の手紙」 出典「私たちの道徳」）

#### 2 主題設定の理由

##### （1）価値について

内容項目C-10は「法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること」をねらいとしている。

人間が集まって生活する社会では、集団が秩序正しく快適な生活ができるように何らかのきまりがある。法やきまりは人の生活の自由を奪うものではなく、集団に秩序を与え、自由に生活することを保障するものである。法を嫌々守るのではなく、法の精神を理解して、法を進んで守る気持ちを育てることが大切である。法を守ることは自分だけでなく他の人の権利を守ることになる。住みよい社会を実現するためには、自分の権利を主張するだけでなく、他者の権利を認め、自らに課せられた義務を果たしていくことが必要である。とかく自分の権利ばかりに目が奪われがちになる傾向が見られるが、自他の権利を尊重し、自らの義務を果たしていくことが規律ある安定した社会の実現には欠かせない。

中学生の時期は、社会の中で人としてどう生きるかという自覚も高まってくるので、法やきまりの意義をより深く考えられるようになる。しかし、法やきまりをただ守ることをよしとしたり、自分の都合のよいようにきまりを解釈したり、時にきまりを守らなくてもよいような雰囲気にならされてしまうこともある。自分の権利を主張するが、義務を果たすことに気を配れないことも見られる。

生徒は素直で自分たちで決めたことは守ろうとする気持ちを持っている。しかし、それぞれの立場を考えたり、自分への損得が先行し、学級をよりよくしようという気持ちに立って考えられないことが見られる。この時期にきまりについて考え、法やきまりの意義をつかみ、秩序と規律のある社会を目指した話し合いをすることは学校生活のきまりを見直す機会となり、よりよい学校生活を送る上で有効である。

以上のことから、法やきまりについて考えることをねらいとして、本主題を設定した。

##### （2）生徒の実態について

明るく素直で、落ち着いた生活を送ることができる。普段の生活では時間を意識できない面もあるが、行事など集団活動ではきまりを守って行動することができる。

本授業に関連した実態調査の結果は以下の通りである。

- ① 学校生活は楽しいですか。  
4とても楽しい（12人），3まあまあ（6人），2あまり（1人）
- ② 学校のきまりは守っていますか。  
4よく守る（15人），3まあまあ（4人）
- ③ 学校のきまりがなければ良いと思うことはありますか。それはなぜですか。

1 はい（2人）：ない方がいい、必要と思わない

2 いいえ（17人）：学校生活が悪くなる（4人）、乱れるから（3人）、集団活動ができなくなる、好き勝手になる（2人）等

- ④ きまりを守らないとどんな気持ちになりますか。

嫌な気持ち（5人）、罪悪感がある（4人）、申し訳ない（3人）、複雑な気持ち（2人）等

それはなぜですか。

守れなかったから（8人）、みんなが守っているから（3人）、後悔するから、罪悪感を感じるから、いけないことだから（2人）迷惑をかけるから、ずるいから、自分を許せないから（1人）

- ⑤ きまりを守らない人を見るとどんな気持ちになりますか。

嫌な気持ち（10人）、腹が立つ（2人）等

それはなぜですか。

きまりを守っていないから、なぜ守らないのだと思うから、自分は守っているから（5人）、楽をしているから（2人）等

- ⑥ 場面調査：東京で美術館の受付係をしていると、田舎から出てきたというお年寄りの夫婦が「どうしても入館させてください」とやってきました。入館時間は四時までですが、すでに四時十分になっています。閉館時間は五時ですが、美術館内を回るには平均二時間ほどかかります。

・あなたはどうしますか。なぜそうするのですか。

○入れない（9人）：きまりを守る（4人）、入館時間が決まっているから（3人）、平等にする（2人）

○入れる（5人）：見たいところを見せる、田舎から来たから（2人）、もう来られないかもしれないから（1人）

○明日にしてもらおう（2人）、上司に相談する、訳を聞く等

- ⑦ きまりを守ることと安心して過ごせる社会について、あなたの考えを書きなさい。

きまりがあるから安心して暮らせる（14人）、きまりがないと悪くなる（5人）、きまりを作り守ることが大切、平等な社会を作れる（2人）等

生徒は学校生活が楽しいと感じており、学校のきまりを守っていると考えている。学校のきまりがなければ良いと思うことのある生徒は2名である。きまりを守らないと嫌な気持ち（5人）、罪悪感を感じる（4人）生徒が多い。きまりを守らない人を見ると嫌な気持ち（10人）になり、なぜ守れないのか（5人）、自分は守っているのに（5人）と憤りを感じることをわかる。

場面調査では、美術館に入館させない（9人）生徒はきまりを守る（4人）、時間が決まっている（3人）、平等にする（2人）などの理由を挙げている。入館させる生徒は限られた時間で見せる（2人）、田舎から来たから（2人）等と答えている。また、明日にするように促したり、上司に相談するなどの答えも見られる。

生徒はきまりがあることによって安心して生活が（14人）でき、きまりがないと社会が悪くなる（5人）と考えている。

日常生活で規則に従っている生徒はきまりの必要性を感じ、集団生活を守るためにきまりを守ろうとする気持ちが強い。きまりはあっても状況に応じてきまりを見直したり、きまりの運用をその場に合わせようとする生徒も見られる。

こうした生徒の実態を踏まえて、きまりの意義について考えることは規律ある安定した社会のあり方についてより深く考える機会になるものと考えている。

(3) 資料について

元さんは動物園の規則を知っていながら、保護者が同伴していない幼い姉弟を入園時間が過ぎているのに、入園させてしまう。二人の姉弟は閉門時刻になっても門に現れなかったため園内職員を挙げて1時間近くも捜索し、園内の雑木林の中の池で遊んでいる二人を発見した。元さんは母親から感謝の手紙を受け取った喜びもつかの間、上司から「懲戒処分」の手紙を受け取った。二通の手紙を受け取った元さんは定年間際であったが、自ら職を辞し、動物園をやめていった。

働き者の元さんが規則に違反して姉弟を入園させたことは、幼い姉弟を危険にさらし、園に迷惑をかけることになった。たとえ姉弟に対する思いやりから発したこと行為とはいえ、許されることではない。姉弟から喜ばれ、母親から感謝されることになったものの、懲戒処分を受け入れて動物園を去っていった元さんの心の動きについて話し合うことから、法やきまりの意義をつかませ、規律ある社会について生徒に考えさせることのできる資料である。

3 ねらい

元さんの気持ちを通して、法やきまりを守ることの大切さをつかむとともに、規律ある社会の実現に努める態度を育てる。

4 展開

学習活動と主たる発問	予想される生徒の反応	時配	支援の手立て・留意点
<p>1 資料の『二通の手紙』に関わる内容を話し合い、資料に入る雰囲気をつくる。</p> <p>① 動物園に行った経験について話し合う。</p> <p>② 二枚の封筒を示す。</p> <p>2 資料『二通の手紙』を読み進めながら、元さんの気持ちを話し合う。</p>	<p>・動物園に行き動物を見たことや思い出について話し合う。</p>	3	<p>・動物園に行った経験を想起させ、温かい雰囲気をつくる。</p> <p>・二枚の封筒を示し、資料に入る雰囲気をつくる。</p> <p>・資料『二通の手紙』を読み進めながら元さんの気持ちを考えることを説明する。</p>
<p>元さんの気持ちを考えることを通して、きまりを守ることと安心して過ごせる社会について考えよう。</p>			
<p>① 元さんは二人の姉弟をなぜ入園させたのでしょうか。</p> <p>・あなただったら入園させますか。</p> <p>② 二人の姉弟が出口の門</p>	<p>・いつもと様子が違っていたから。</p> <p>・毎日動物園に姉が弟を連れてきていたから。</p> <p>・弟の誕生日に喜ばせたい姉の気持ちがわかったから。</p> <p>・入園時間からみて大丈夫そうだから。</p> <p>・入園させる</p> <p>・入園させない</p> <p>・入園時間を守ればよか</p>	8          6	<p>・元さんのやさしい思いやりに気づかせる。</p> <p>・規則通りに姉弟を入園させないのをおかしいと思う気持ちをつかませる。</p> <p>・自分の立場で考えさせる。(挙手で確認)</p> <p>・入園時間、保護者同</p>

<p>に現れず，園内を探している時，元さんはどんな気持ちだったでしょうか。</p>	<p>った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者がいないのに入れてはいけなかった。</li> <li>・子どもに事故があったらどうなるだろうという怖い気持ち。</li> <li>・園の職員に迷惑をかけて申し訳ない。</li> </ul>		<p>伴という規則を二つ破っていることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人の子どもの心配と迷惑をかけていることへの後悔の気持ちをつかませる。</li> </ul>
<p>③ 二人の姉弟の母親からの手紙を受け取った元さんはどんな気持ちだったでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんから感謝の手紙をもらってうれしい。</li> <li>・姉弟の事情がわかり，二人が喜んでくれてよかった。</li> <li>・大変なことになったが，無事にすんでよかった。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人の姉弟の思いがわかり，母親から感謝を受けて安心した気持ちをつかませる。</li> </ul>
<p>④ 二通の手紙を見比べている元さんはどんなことを考えていたのだろう。理由も含めてプリントに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちに何もなかったのだから許して欲しかったのに。</li> <li>・お母さんも子どもも喜んでくれたのだから仕方がない。</li> <li>・重大な事故にならなかったのも，ほっとしている。</li> <li>・二つの規則違反をしているので，当然罰を受けなければならない。</li> <li>・規則を破ったためにみんなに迷惑をかけて申し訳ない。</li> </ul>	1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>・二つの規則違反が動物園に迷惑をかけ，他ことを自覚して身を引く元さんの気持ちをつかませる。</li> </ul>
<p>3 『二通の手紙』を学習したことを通して，きまりを守ることと安心して過ごせる社会について考えをプリントにまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉弟のために良かれと思った規則違反をしたが，約束は守るべきだった。</li> <li>・住みよい社会をつくるためには規則を守る必要がある。</li> <li>・悪気がなくても，規則を破るのは危険だとわかった。</li> </ul>	1 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>◇規則の意味を考え，規律ある安定した社会をつくることの大切さをまとめることができたか。</li> </ul>
<p>4 自己評価の欄を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業の取組について記入する。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5段階で自己評価し理由を記入する。</li> </ul>